

西日本インカレ（合同研究会）2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
フリガナ アイチダイガク	フリガナ ケイエイガクブ	フリガナ フルカワチトセゼミナール
愛知大学	経営学部	古川千歳ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ チャバシラ	フリガナ コウザキジュンヤ	5	無
茶 I	幸崎純哉		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール（具体的に使用するツールを明記してください）
PowerPoint

研究テーマ（発表タイトル）
ネットワークを利用した海外展示会 ～中小企業がより多くの情報を手に入れるには～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

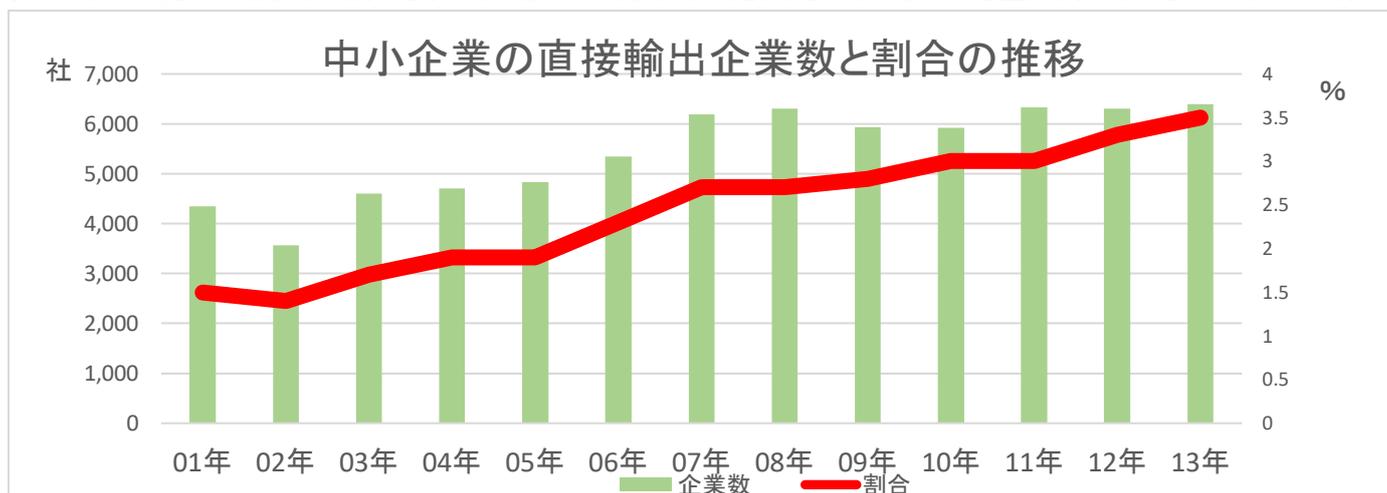
1. 研究概要（目的・狙いなど）

本研究では情報を「企業が海外展開するにあたって必要な知識や内容」と定義し、情報という側面からどのようにすればより多くの中小企業が海外に進出し、活躍することができるのかを考えた。また、海外展開する上で海外展示会への参加は重要であることから海外展示会で中小企業がより多くの有益な情報を効率的に獲得することができるにはどのようにすればいいのかという点について提案をする。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

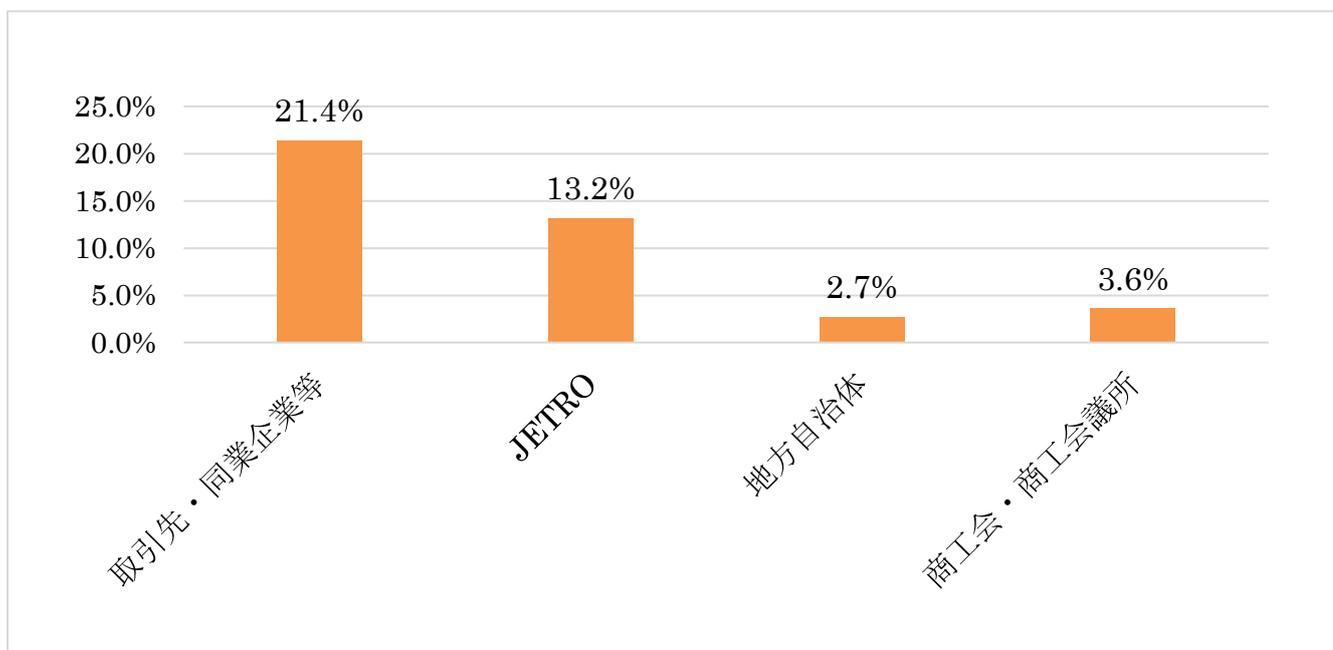
中小企業は日本企業全体のうち、およそ 99.7%を占めている。中小企業には様々な定義があるのだが、とくに製造業における中小企業の定義は資本金の額または出資の総額が 3 億円以下であること、常時使用する従業員が 300 人以下のいずれかを満たす企業である。この定義に当てはまる多くの中小企は大企業に比べて圧倒的に経営資源が少ないという現状がある。それを賄うためには他社や支援団体などの外部とつながり経営資源の不足を補おうとする。情報に関しても同様であり、中小企業は情報の不足を補うために外部とつながり情報を獲得しようとする。中小企業の海外展開の現状を直接輸出企業数と割合の推移から見てみると、2001 年から 2013 年にかけて 12 年間で約 2000 社も増加しており 2013 年現在では約 6300 社になっている。一見多いように思えるが中小企業の総数から見ると 3.7%しか海外展開をしていないことがわかる。しかし、大半の中小企業

は海外進出の拡大に意欲がある。つまり、海外進出に意欲があったとしても、海外進出には至ってはいないというのが現状だ。



資料：経済産業省「工業統計表」、総務省・経済産業省「平成 24 年経済センサス-活動調査」再編加工
 この理由として、中小企業が海外展開をするうえで販売先の確保や信頼できるパートナーの確保などが障害としてあげられ、これらを確保するには情報が必要となってくる。その点も踏まえると、中小企業が海外展開する上で障害となるものの多くは情報であることがわかる。Ellis (2000)/Kontinen and Ojala(2012)の既存研究によれば、海外展開する上で海外展示会が重要であり、中小企業は公的機関を橋渡しとして活用し、そこから海外市場に関する情報を獲得することができるとしていた。そこで国の中小企業への海外展開事業の支援についてみると、国は JETRO や地方自治体などの支援団体に援助・委託を行い、支援団体から中小企業へと支援が行われることが分かった。輸出を実施していないが海外展開に関心のある企業が最も頼りにしている海外展開の相談相手は取引先・同業企業等であり、支援機関の評価は軒並み低く、地方自治体にいたっては 2.7%とかなり評価が低い。

最も頼りにしている海外展開の相談相手
 (一部抜粋)



また、公的な海外展開支援機関を利用したことがある企業の満足度も同様に支援団体に対する評価は低い。

3. 研究テーマの課題

中小企業は大企業と比べてヒト・カネ・モノ・情報などの経営資源が圧倒的に劣っており、海外展開を行いたいが行えない中小企業は多い。このことを踏まえ、中小企業の海外展開を行えない理由の一つである情報不足を解決することが本研究の課題であ

る。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

海外展示会において支援団体を中心としたネットワークと中小企業を中心としたネットワークの存在の発見から、この二つが掛け合わせることができるようにすることが中小企業の情報の不足を解決することができる考えた。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

2017年8月17日～19日に行われた海外展示会である「香港 FoodExpo2017」に出展している二つの県の企業と支援機関を対象に開催期間中、インタビュー・アンケート調査を行った。そこで二つの県において各々の県のネットワークの在り方と支援機関に対する評価を調査した。また、この調査でネットワークの在り方と支援機関に対する評価に差があることが判明したので、なぜ差が生まれたのか展示会が終了した2か月後に事後インタビュー・アンケートを行った。

また、どのようなネットワーク構造が最も中小企業にとって効率的で有益となるのか、そして中小企業はどのようにすればより多くの情報を獲得できるのかについて考察した。

6. 結果や今後の取り組み

海外展示会において支援団体を中心としたネットワークと中小企業を中心としたネットワークといったネットワークの在り方に差があり、支援機関に対する評価も異なっていた。そこで中小企業を中心としたネットワークと支援機関を中心としたネットワークを掛け合わせることでお互いのデメリットをなくすことができると考え、そのために支援機関が中心となって県という枠を超えたイベントや交流会を実施することを提案することで課題である中小企業の情報不足を解決し、より多くの中小企業が海外展開できるようになるだろうと考えた。

7. 参考文献

・出典 中小企業庁

http://www.chusho.meti.go.jp/faq/faq/faq01_teigi.htm#q1(最終アクセス日 2017年10月20日)

・2017年度 中小企業白書

http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H29/PDF/h29_pdf_mokujityuuGaiyou.pdf

(最終アクセス日 2017年10月20日)

・参考 JETRO

https://www.jetro.go.jp/ext_images/j-messe/column/pdf/fair_exhibition.pdf(最終アクセス日 2017年10月20日)

・X 県支援団体ホームページ (最終アクセス日 2017年10月20日)

・ネットワーク組織「社会ネットワーク論からの新たな組織造」若林直樹 著 有斐閣

・ソーシャル・キャピタル入門 孤立から絆へ 稲葉陽二 中公新書

・ソーシャル・キャピタル「社会構造と行為の理論」ナン・リン 著 筒井淳也・石井光規・桜井政成・三輪哲・土岐智賀子 訳

・中小企業庁委託

「中小企業の海外展開の実態把握にかかるアンケート調査」(2013年12月、損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント(株)) http://www.meti.go.jp/meti_lib/report/2014fy/000705(最終アクセス日 2017年10月20日)

・国立国会図書館 調査及び立法考査局 (西美希 2017年3月)

<https://www.dropbox.com/home/%E9%A6%99%E6%B8%AF%E3%83%81%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%80%802017/%E7%A0%94%E7%A9%B6%E8%B3%87%E6%96%99?preview=%E4%B8%AD%E5%B0%8F%E4%BC%81%E6%A5%AD%E3%81%AE%E6%B5%B7%E5%A4%96%E5%B1%95%E9%96%8B%E5%8F%8A%E3%81%B3%E6%B5%B7%E5%A4%96%E5%B1%95%E9%96%8B%E6%94%AF%E6%8F%B4%E3%80%80%E6%84%9B%E5%AA%9B%E7%9C%8C%E3%80%80%E7%A6%8F%E4%BA%95%E7%9C%8C%E5%8F%8A%E3%81%B3%E7%9F%B3%E5%B7%9D%E7%9C%8C%E3%81%AE%E4%BA%8B%E4%BE%8B%E3%81%8B%E3%82%89.pdf>(最終アクセス日 2017年

10月20日

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「大会結果 Web ページ」に掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず使用するツール名をご記入ください。企画シートにご記入が無い場合は、発表当日の使用はできません。あらかじめご了承ください。

↑ここまでを4ページ以内に収めて、提出してください↑